

平成 28 年度 第 17 回全国障がい者スポーツ大会愛顔つなぐえひめ大会
第 1 回 審判講習会 報告書

一般社団法人愛媛県バスケットボール協会
全国障がい者大会えひめ大会実行委員会委員長 正岡 京子

【目 的】 平成 29 年度開催の愛顔つなぐえひめ大会に向け、
車椅子バスケットボール競技審判員の技術向上を図る。

【会 場】 7 月 9 日（土曜日） 愛媛県身障者スポーツセンター 体育館
7 月 10 日（日曜日） ウェルピア伊予 体育館

【研修会日程】

9 日（土）

12:30	13:00	14:30	15:30	17:00	17:30	19:00
集合 受付	実 技	開講式 ルール テスト	実 技	移 夕 動 食		

10 日（日）

8:45	9:00	9:30	14:30	15:00
集 合	準 備	実 技		閉 講 式

【講 師】 一般社団法人 日本車椅子バスケットボール連盟
理事 審判部担当 杉山 兼芳 氏

【受講生】 四国車椅子バスケットボール連盟審判員

【内 容】 愛媛 W B C チームが行うゲームにおいて、受講審判員が講師より実技等の
指導を受ける。またルールテスト実施する。

【参加チーム】 9 日 四国選抜・愛媛 W B C

10 日 愛媛 W B C 四国選抜 広島 W B C

講習会内容

7月9日(土)

開講式
実技 前後半で交代しながら
ルールテスト

実技アドバイス

- ・レフリーが動いていない。ブラインドがおこらないように早めに動く
- ・レフリーがお互いにコミュニケーションをする
- ・プレイから目をきるのが早いのではないか
- ・バンパー（下）は見えているか？位置取り、見えている気になっていないか
- ・目線を変える

ルールテスト 15問 20分間

- ・総合的に得点が非常に悪い。もっとルールの理解をするべきである
- ・ルールが理解できていないと正しい判定にも自信が伴わない。

7月10日(日)

実技講習3ゲーム 前後半で交代
分解練習45分
閉校式

- ・見えたから吹いた？・・・OK？
↓
- ・見ていてよかったのか？……エリアは？
- ・プレイを誰がとらえるのか？視野がかぶっている
- ・選手からの問いかけが多すぎる。その前にレフレイが示す。
- ・ゲーム中に感じていることを修正すること（タイムアウト・休憩時・ピリオド間等）
- ・エンドのリード審判の姿勢、正面でとらえる
- ・3人制ではリードがもっと動く
- ・全員プレイに遠い、もっと予測をすること
- ・進路の交わり（コンバージング）並走（パラレル）が起こっているときその先のプレイを予測し見極める
- ・リードの動きをクローズダウンクロスウォッチで
- ・もっと勇気をもって判定する

所感

二日間通して、1ゲームを前後半にわけて審判をしました。
数多くふくことができ、杉山さんにアドバイスをいただいた後すぐ実技にトライし、個々がまずやるべきことを修正しながらコートに立ちました。
言われているアドバイスは私がこれまで言われてきつづけたことでもあり、私自身経験させていただいたことを県内に伝えきれていないことは大変反省すべきことでした。

分解練習では、パラレル、コンバージングの違い、その現象が起こるとき等を車椅子を使ってコートで細かくご指導いただきました。
その部分の見極めが大変重要であるので、試合で意識しないといけません。

今回、改めてルールの理解が大切であること、実技の経験値を上げること接触の原理の理解を極めることの大切さを感じました。

このことを課題として上げ、愛媛県車椅子審判部として早急にルールの勉強会を企画しました。
連盟本部よりアナウンスのある大会にはできる限り足を運び実技の経験値を上げていくようにします。

今回は、会場設備等が十分でなく大変暑い中、杉山さんには、ずっとコートでアドバイスをさせていただきました。
感謝するとともに、この経験をまた次にお会いするときには、必ず成長をお伝えしたいと思います。

連盟本部、四国連盟、関係者の方々のご協力で今回の講習会が開催できましたことを深く感謝申し上げます。

来年に迫りましたえひめ大会むけ一歩ずつ全力で取り組み、一人でも多くの審判員が携われるよう、愛媛県全体でレベルアップにしていきます。

ありがとうございました。

以上

